

4. 社会福祉法人八陽会

(1) 総 括

八陽会・役職員一丸となり核となる理念を基に福祉サービスを継続し提供できるよう努め、社会福祉法人の役割を果たしていけるよう、ガバナンスの強化・財務規律強化・経営情報の開示・地域における公益的な取り組みの実現を役員・職員で取り組んで参りました。

①理事・評議員の機能の充実

役員会・評議員会を定期的を開催しそれぞれの役割を担うべく事業運営に携わって参りました。

②介護人材の確保

各種学校での活動や就職情報サイトでの活動を継続し実施。インターンシップを開催。外国人技能実習生の受け入れの継続。

また、長期的に働ける介護助手事業の取り組み体制を整える。外国人雇用や高齢者のマンパワーを活用する仕組みづくりの再構築が更に求められる。

③福祉充実計画を踏まえ、地域貢献事業をより充実させ公益な取り組みを行う

令和9年度までの充実計画は、中期事業計画内容と重複している為、役員間で充分審議を重ね今後も進めていく。

(2) 次世代育成支援の取り組み

生活と仕事の調和（ワークライフバランス）を図る事を目的とし、職員一人ひとりが意識を持って取り組んでいけるよう啓発する。

①休暇取得の為の取り組みとし、計画的有休の付与・連続休暇を継続

計画的有休の付与は働くモチベーションを保つツールとなっている。計画的に付与する事で確実に連続休暇を消化する事ができ、かつ他の有給休暇の取得がしやすい環境になり全体的に有休取得率が向上している。

②労働時間縮減の取り組みとし、時間単位の有休取得及びノー残業デイを普及（毎週火曜日）

ノー残業デイを公言する事で意識的に時間を気に掛ける傾向が窺える。勉強会等を交え更なる啓発に努める。

③休暇取得、労働時間に対する意識改革を目的とし、各部署による勤務管理を継続し定期的に学習会を開催

各部署で勤怠管理を実施して5年。公休・有休・労働時間・時間外時間の違いを把握した上で、人員基準管理が出来る様になっている。

今後もより理解を深め時間外の内容を精査する事に取り組む必要がある。

(3) 資格取得支援の取り組み

職員がキャリアアップし質の向上を図る事を目標としています。介護職員は、処遇改善加算Ⅰを算定している場合、キャリアパス要件は義務付けられています。八陽会では、資格取得者をサポート・応援していきます。

① 学習支援とし、各種研修を閲覧。

個々の時間を有意義に活用できるよう、オンライン学習を中心に支援した。

②時間的支援とし、試験受講・受験日の勤務調整を行う。

資格取得の為、勤務調整実施。

③経済的支援とし、介護支援専門員の更新研修費用支給。資格取得の為の受講料の貸付（介護実務者研修等）。又、処遇改善による資格手当支給（介護福祉士・介護支援専門員・初任者研修）。

資格手当対象者60名に支給、総額484万円。

④資格取得後、祝品を支給。

資格取得者3名

（4）地域貢献事業

①社会貢献

・経済的支援（法人減免） 利用事業所3事業所（3名、総額25.7万円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
修光園(入所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
修光園(短期入所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
デイサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サテライト(個室)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サテライト(多床室)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
サテライト(短期入所)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2

・介護予防教室

＜十日市＞

年 月	内 容	配布先
令和6年9月	介護予防情報（頭・手運動、脳トレ）	八重坂ひまわり会 十日市老人クラブ 新田寿会
令和6年11月	介護予防教室（みんなの体操、レクリエーション）	八重坂ひまわり会 十日市老人クラブ 新田寿会

＜サテライト＞

実績なし

②地域交流

＜ホーム＞

年 月	内 容	場 所
令和6年5月	ゴミ拾い	トロッコ道路

6 月	〃	修光園周辺
7 月	〃	
9 月	〃	
9 月	第 63 回大館地区体育祭	
10 月	ゴミ拾い	
11 月	〃	

<サテライト>

年 月	内 容	場 所
令和 6 年 10 月 6 日	新井田城まつり(看護師派遣)	新井田公園

② 人材育成・人材派遣

・ 令和 6 年度 受け入れ なし

・ シニアはつらつポイント事業
令和 6 年度 受け入れ なし

・ 委員の派遣

令和 6 年 7 月 29 日	八戸市ボランティアセンター運営会議	苫米地 恭佑
令和 7 年 2 月 20 日	〃	〃

・ ボランティア

※受け入れ無し

・ 訪問団体

<ホーム>

月 日	名 称	内 容	人 数
1 0 月 2 3 日	長流寺住職	物故者慰霊祭	1 名
合 計	1 団体		1 名

※他事業所は受け入れ無し

・ 実習生

<ホーム>

月	名 称	期 間	人 数
9 月	八戸学院短期大学看護学科	1 0 月 8 日 ~ 1 0 日 1 0 月 1 5 日 ~ 1 7 日 1 0 月 2 2 日 ~ 2 4 日	5 名

<サテライト>

月	名 称	期 間	人 数
7 月	八戸学院大学(教員免許志願者介護体験)	7 月 1 日 ~ 5 日	1 名
8 月	青森県立保健大学	8 月 5 日 ~ 9 月 4 日	1 名
	弘前学院大学	8 月 5 日 ~ 9 月 13 日	1 名
	八戸学院大学短期大学部介護福祉科	8 月 26 日 ~ 9 月 30 日	3 名
10 月	NHK 学園	10 月 1 日 ~ 11 月 1 日	1 名
11 月	岩手県立大学	11 月 11 日 ~ 11 月 20 日	2 名
2 月	八戸学院大学短期大学部介護福祉科	2 月 10 日 ~ 3 月 2 日	1 名
合 計	6 団体		10 名

※他事業所は受け入れ無し

・施設見学・体験学習等

<サテライト>

月 日	名 称	内 容	人 数
令和 6 年 11 月 29 日	八戸東高校インターアクト施設見学	施設見学・体験	8 名
合 計	1 団体		8 名

・介護助手事業実施

体験者 6 名

(※第一回目より継続雇用者 2 名)

・広報誌作成

情報発信と当園のPRを行うことを目的としている。

月	内 容
5 月	広報誌「きずな」142号発行
3 月	広報誌「きずな」143号発行

(5) 新採用職員育成計画 実施状況

①新人職員研修プログラム

入社時の新人研修を実施。新人研修座学等は1週間実施し、その後各事業所を回り様々な業務を学ぶことが出来た。面談シートも継続しており、コロナ禍により行き来ができなかった部分が出るようになった。また、プログラムの中に初任者研修、実務者研修も取り入れることができた。

②OJTの実践と役割の明確化

新人職員に関しては、各事業所でOJT担当職員を配置し面談を進めていくという流れが定着してきている。面談シートを活用することで目標や課題の共有も図れており、今後も継続していく。

③チェック表を用いての業務習得度の共有

業務全般のチェック表を作成し、新人職員に使用する事ができた。業務で不安な部分を項目毎に確認し合う事で、新人職員だけでなく担当職員も習得度を把握でき、業務のステップアップの判

断材料として活用できた。今後も使用状況を確認しながら、ステップアップの際の不安軽減につなげていく。

③ 外部研修受講の活用

対象職員 3 名。初任者研修 2 名 実務者研修 1 名

(6) 階層別人材育成の取り組み

①階層別研修の実施

動画視聴による研修会を実施。令和 6 年度も、個々に用紙を配布し自身が必要だと考える項目を自主研修して頂いた。しかし、業務の都合等により時期がずれてからの研修となることが多く見られていた。

・法人内研修＜全体研修＞

No	年 月 日	研 修 内 容
1	令和 6 年 4 月	倫理及び法令順守
2	5 月	プライバシー保護の取組み
3	6 月	認知症、認知症ケアについて
4	7 月	感染症、食中毒予防及び蔓延防止
5	8 月	虐待防止
6	9 月	ハラスメントについて
7	10 月	B C P について

＜課題別専門研修 特養部門＞

No	年 月 日	研 修 内 容
1	令和 6 年 4 月	事故発生又は再発防止
2	5 月	緊急時の対応
3	6 月	身体拘束排除の取組み
4	7 月	非常災害時の対応
5	8 月	医療に関する教育
6	9 月	口腔ケアについて
7	10 月	ターミナルケア、介護予防及び要介護度進行予防
8	11 月	感染症、食中毒の予防及び蔓延防止
9	12 月	精神的ケア
10	1 月	事故発生又は再発防止
11	2 月	身体拘束排除の取組み
12	3 月	虐待防止について

<新人・新任職員研修>

No	年 月 日	研 修 内 容	講 師
1	令和6年 4月1日～4月8日	新人職員研修・オリエンテーション	下屋敷祐亮
2	5月14日	事故防止について	〃
3	6月21日	認知症について	〃
4	6月21日	コンプライアンスと職業倫理	〃
5	9月27日	振り返り	高橋亜希子
6	11月25日	認知症と尊厳あるケア	下屋敷祐亮
7	12月27日	高齢者の疾患と医療の基礎	〃
8	令和7年1月27日	介護保険制度について	〃

・外部研修

<十日市>

No	年 月 日	研 修 内 容	氏 名
1	令和6年4月20日	秋季合同企業説明会	下田歩美
2	5月16日	集団指導	中村雅美 相馬郁子 下屋敷祐亮
3	5月16日	八戸地域防災協会総会	坂本奨
4	5月20日	青森県老人福祉協会第一回総会・研修会	李澤隆聖
5	5月21日	青森県社会福祉法人経営者協議会総会・研修会	李澤隆聖
6	5月21日	口腔ケア研修会	高橋歩美
7	5月24日	特定給食施設等栄養管理研修会	軒華凜
8	5月29日～5月31日	ユニットリーダー実地研修	豊川かおり
9	6月5日	八介協 理事会	李澤隆聖
10	6月7日	ユニットリーダー実地研修 プレゼン	豊川かおり
11	6月7日	パラマウントベッド研修	上條有加
12	6月13日～6月14日	短期専門講習「緊急時の介護」	小平昭
13	6月14日	八介協総会・研修会	李澤隆聖 日戸雄一 林美幸
14	6月17日～6月19日	ユニットリーダー実地研修	下屋敷祐亮
15	6月17日～8月5日	介護職員初任者研修	三浦舞友
16	6月24日～7月5日	認知症介護指導者養成研修	館芙美枝
17	6月25日	年金委員研修会	中村雅美
18	7月3日	介護テクノロジー展・ミニセミナー	高森康太郎
19	7月5日	老人福祉委員会	李澤隆聖
20	7月5日	ユニットリーダー実地研修 プレゼン	下屋敷祐亮

21	7月 10日	包括的支援事業説明会	日戸雄一
22	7月 19日	介護ロボット・ICT 機器展示、体験会	坂本奨
23	7月 24日	八戸地域介護支援専門員協議会・研修会	豊川かおり 下屋敷祐亮
24	8月 2日	認知症実践者ファシリテーター	上野哲平
25	8月 6日	身体拘束・高齢者虐待研修	大館志歩
26	8月19日～8月21日	認知症介護指導者養成研修	館芙美枝
27	8月21日～8月22日	安全対策担当者養成研修	下屋敷祐亮
28	8月22日～8月23日	安全対策担当者養成研修	館芙美枝
29	8月23日	青森県地域包括・支援センター協議会祝賀会	李澤隆聖
30	8月26日～8月30日	認知症介護指導者養成研修	館芙美枝
31	8月27日～8月28日	安全対策担当者養成研修	坂本奨
32	8月29日	安全対策担当者養成研修	上條有加
33	9月 4日	介護サポーター事業事務打ち合わせ	林美幸
34	9月 6日	都道府県経営協セミナー	李澤隆聖
35	9月24日	ケアパソメイト養成研修	日戸雄一
36	11月 7日	栄養士部会	深川咲輝
37	11月12日	年金委員研修	中村雅美
38	11月16日	介護支援専門員合同研修	日戸雄一 豊川かおり
39	11月17日	感染症対策特別研修	福田容子
40	11月19日	求人説明会	中村雅美
41	11月20日	安全運転管理者講習	下屋敷祐亮
42	11月22日	感染症対策研修会	下屋敷祐亮
43	11月28日	生産性向上ビギナーセミナー	館芙美枝
44	11月29日	八戸地域防災協会研修会	坂本奨
45	11月30日	東北地方慢性期医療協会講演会	豊川かおり 上野哲平
46	12月 4日	青森県認知症介護実践研修（聴講）	館芙美枝
47	12月 4日	青森県認知症介護実践研修（ファシリテーター）	坂本奨
48	12月 4日	青森県認知症介護実践研修	上條葉月
49	12月19日、23日	同一労働 同一賃金 職場におけるパワハラ研修	中村雅美
50	令和7年1月29日	年金委員研修会	中村雅美
51	2月10日	八戸地域介護支援専門員協議会研修会・懇親会	李澤隆聖
52	2月12日	ケアプランデーター連携システム研修会	西澤茉莉奈
53	2月19日	あおもりノーリフティングケアフォーラム	大館志歩
54	3月14日	ケアプランデーター連携システムリリースキャンペーンオンライン説明会	西澤茉莉奈

<サテライト>

No	年 月 日	研 修 内 容	氏 名
1	令和6年 4月5日	ユニットリーダー会議 プレゼンテーション	山下ひとみ
2	4月20日	春季合同事業所説明会	釜谷俊佑
3	5月16日	集団指導	高橋亜希子
4	5月16日	八戸地域防災協会総会	山田弘文
5	5月21日	介護職員の口腔ケアに対する知識・技術の習得、口腔衛生管理体制の研修会	倉内彩夏 三浦尚子 舘征吾
6	6月7日	スタッフのためにできること デジタル化による課題改善への取り組み	山田弘文
7	6月13日 ～14日	令和6年度短期専門講習「緊急時の介護」	松橋綾香
8	6月14日	八戸地域介護サービス協議会 総会・研修会	高橋亜希子 李澤修大 釜谷俊佑
9	6月21日	青森県立保健大学ソーシャルワーク実習Ⅱ指導者会議	高橋亜希子
10	6月26日	岩手県立大学ソーシャルワーク実習Ⅰ実習指導者会議	高橋亜希子
11	7月9日	短期専門講習「認知症ケア」	三浦尚子
12	7月10日	社会福祉施設における労働災害防止対策説明会	山口美和子
13	7月19日	第4回介護ロボット、ICT 機器展示体験会	山田弘文
14	7月24日	八戸地域介護支援専門員協議会 研修会	高橋亜希子
15	8月11日 ～16日	能登半島地震応援派遣	李澤修大
16	8月15日 ～31日	介護施設における安全対策担当者養成研修	高橋亜希子 山口美和子
17	8月20日 ～9月17日	実務者研修	逸見百佑
18	9月17日 ～19日	ユニットリーダー研修実地研修 (特別養護老人ホーム壱ノ町)	新沼館美里
19	9月24日	認知症キャラバン・メイト養成研修	李澤修大
20	9月25日	合同研修「カスタマーハラスメント研修」	山田弘文
21	10月4日	ユニットリーダー研修プレゼンテーション	新沼館美里
22	10月9日	介護サービス情報の公表制度 「10の研修テーマ」に係る研修会	舘征吾
23	10月17日	雇用促進セミナー	横山佳代子

24	10月19日	秋季合同事業所説明会	釜谷俊佑
25	10月22日	青森県看護協会「セカンド・キャリアセミナー」	杉本睦
26	10月25日	介護サービス情報の公表制度 「10の研修テーマ」に係る研修会	倉内彩夏
27	11月17日	青森県感染対策特別研修会	杉本睦
28	11月21日	ノロウイルス食中毒予防と対策講習会	軒華凜
29	11月21日	青森県介護支援専門員及び介護サービス提供者 合同研修	高橋亜希子
30	11月22日	感染症予防対策研修会	李澤修大
31	11月28日	介護現場における生産性向上について	山田弘文
32	12月17日	八戸学院大学短期大学部 介護実習指導者会議	山田弘文
33	12月17日	災害福祉支援体制構築助成事業による BCP 危機管理 向上研修 能登半島地震介護職員応援派遣報告	李澤修大
34	12月19日	認定調査従事者現任者研修	高橋亜希子
35	令和7年1月7日 ～2月18日	実務者研修	舘征吾
36	2月3日 ～21日	介護事業者のための業務継続計画 (BCP) 策定後の研 修及び訓練に関するオンデマンドセミナー	高橋亜希子 杉本睦 山田弘文 松村明子

②次世代のリーダー育成

階層別でのキャリアパス評価シートを作成し、2年度から活用し始めている。年2回の面談も実施。今後も継続していく。

③中途採用職員育成

今年度は経験のある職員の中途採用が多く、時間を確保できず面談が進まないケースもあり、早い段階で目指すべき方向性を互いに共有することの必要性を再確認できた。入社後スムーズな面談につなげられるよう担当の調整等を迅速に行い、今後も継続していく。

(7) 防災対策

<十日市>

実施日	訓練内容・出火場所	参加者
令和7年1月29日	夜間火災想定・中間浴	職員10名（お客様19名）
2月28日	夜間火災想定・相談員室	職員9名（お客様20名）

<サテライト>

実施日	訓練内容・出火場所	参加者
令和6年6月21日	夜間火災・風水害・防犯・Jアラートについての勉強会	職員19名（お客様0名）

10月21日	防犯通報訓練	職員17名（お客様0名）
12月18日	夜間火災想定（総合訓練）・職員トイレ	職員13名（お客様39名）
令和7年1月29日	夜間火災想定（総合訓練）・静養室	職員14名（お客様39名）
3月25日	風水害訓練	職員18名（お客様0名）

（8）令和6年度 修光園行動計画実施状況

職員が仕事と子育てを両立させることができ、職員全体が働きやすい環境をつくることによって、全ての職員がその能力を発揮できるように次の行動計画を策定する。

1）計画期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日の5年間

2）内容

目標1：年次有給休暇の取得促進をし、全職員の年次有給休暇取得日数を1人あたり年間6日以上とする。

＜対策＞

- 令和3年10月～ 現状の取得率の算出、管理者などへの現状報告
- 令和4年 4月～ 年次有給休暇取得促進のためのリーフレットの作成及び周知
- リフレッシュ休暇取得率：100% 年次有給休暇取得率：58.5%

目標2：計画期間内に育児休業の取得率を次の水準以上にする。

＜対策＞

- 令和4年1月～ 男性も育児休業を取得できることが可能であることを周知するため、管理者向け・従業員向けのリーフレットを作成する。
- 女性 1名 習得実施